

# 吉島福祉だより

発行 吉島学区社会福祉協議会

発行責任者 会長 平本 祐二

発行年月日 令和5年（2023年）3月吉日

## 第24回吉島学区とんど祭り

令和5年1月8日（日）吉島小学校のグラウンドで「とんど祭り」が開催された。昨年と同じくコロナ対策を取りながらのとんど祭りとなった。午前10時、準備には福祉推進委員、各町内会の有志など約40名が集まった。長短の竹を組み立て、門松、しめ飾り、子どもたちの書いた書初めもセットされた。午後2時からは、年男年女の人たちでやぐらに点火。炎はあっという間に燃え上がった。今年こそ良い年になる事を願う。





吉島公民館



吉島福祉センター



吉島中学校



吉島東小学校



中島小学校



吉島小学校



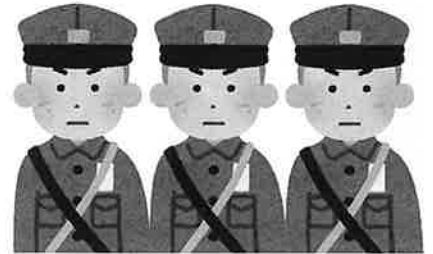
門松づくり  
 吉島中学校区  
 ふれあい活動  
 推進協議会

昨年、吉島中学校区の生徒、児童、ボランティアさんが集まり吉島学区6ヶ所に飾る門松を作った。門松には作った人の顔が見えるように、写真と名前が表示されていた。寒い中お疲れ様でした。



# おじゃまします

#9



今回は、被爆体験をお聞きするため吉島西1丁目にお住まいの中尾米水<sup>よねみ</sup>さんを、写真スタジオのお宅に伺いました。昭和6年生まれの91歳。笑顔で迎えてくださいました。

当時13歳の私は、廿日市市地御前の兵器製造工場へ学徒動員で寮生活をしていました。朝礼の点呼を受けていると何かピカッと光を感じ、変電所がスパークしたのか?と思う間もなく5秒ぐらい経って、「ドカーン」とものすごい音と共に工場のガラスが砕け散り落ちてきました。外に出てみると広島の方の空に白い雲が上がっていました。8時15分。夜になると広島の方からトラックに乗せられた負傷者の人がたくさん寮に担ぎ込まれておりました。顔や手は見るも痛々しく焼けただけ、この世の地獄のありさまでした。手招きをして何かを言っておられるのですが聞き取れず、私は泣きながらどうすることもできません。担架に手を添えているだけでした。

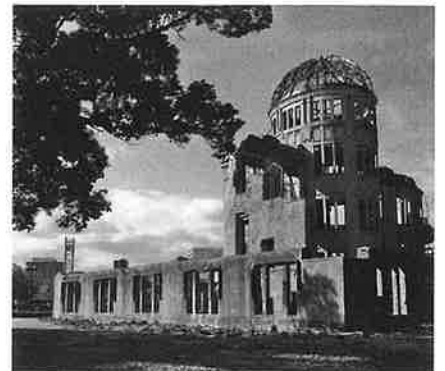
私は本社工場の片付けに、広島市にトラックで入りました。川には人や馬の死体が一面に漂い、浮き沈みしていました。怖さをこらえてトラックにつかまっていた。

炊き出しのおにぎりをいただいたのですが、普段は大根めしや大豆ご飯を食べているので、銀シャリは喉に詰まって2個食べるのが精一杯でした。

夜には片付けが終わり、帰りは小舟に乗って帰りました。広島の方は赤く染まっています。死体を焼いている炎だと思つて恐ろしく、まさにこの世の地獄だと思いました。小舟はスピードを上げて帰ったので途中でエンジンが焼けてしまい、しばらく休憩。海上にはキラキラ光る夜光虫がたくさんいて幻想的でした。地御前の寮に戻り「長崎に原爆が落とされた」と聞いて、これから日本はどうなるのだろうととても不安に思いました。

2009年「吉島原爆被爆者の会」を作りいろいろ活動をして参りましたが会員の高齢化、コロナの影響で、今は活動もままならない状態です。

最後に言いたいことは、「絶対に三度原爆<sup>みたび</sup>を使ってはならない」「世界中の人に原爆の恐ろしさを知ってもらいたい」



# おめでとうございます

広島市安全まちづくり功労表彰

藤崎義明様 (光南2丁目)

植田和子様 (光南2丁目)

畠山浩江様 (光南2丁目)

広島県共同募金会会長表彰

(共同募金運動奉仕功労者)

平本祐二様 (光南2丁目)

社会福祉協議会関係功労者

河原正勝様 (光南2丁目)

環境美化功労者表彰

【団体の部】

吉島学区連合女性会

【個人の部】

三村由子様 (光南2丁目)

広島市青少年健全育成連絡協議会会長表彰  
 (地区(学区)青少年健全育成連絡協議会役員)

【吉島地区】

渋下忠様 (南吉島)

齊藤久美様 (南吉島)



# SUB・TOPIX



## 広島市総合防災センターでの防災訓練に参加して

合田 忠孝

秋晴れの10月29日（土）に南吉島町内会とサンテラス吉島管理組合共催の表記の防災訓練を実施しました。

参加者は24名で消防署のマイクロバスで会場へ送迎を受け、2時間コースの訓練で防災講座・消火や避難煙体験・地震体験・油火災実験等多くの訓練の後、質疑応答で有意義な時間を過ごしました。

帰路のバスの中では参加者の喜びの声を聞くことが出来、今後の生活上で役に立つ多くの防災知識や災害時の行動力、対処方法を身につける学習が出来ました。



## 広島市長来る！

令和5年1月広島市長松井一寛さんが、吉島集会所に来所。「共助の精神に基づく地域コミュニティの活性化について」という表題で、地域コミュニティの現状と課題、行政との関わり、理想的なコミュニティまで約1時間講演を聞いた。



## バリクリーンへ施設見学

公衆衛生推進協議会

2月22日、公衛協の会員、社協役員、町内会長等約20数名で今治市のごみ処理施設バリクリーンを見学した。「バリ」は今治の「バリ」でユニークなネーミング。南吉島にある広島市環境局中工場の規模には及ばないものの、災害時の避難場所の機能があり、多目的室もある。屋外のすぐそばにはテニスコート、運動場、プールが併設されており、地域住民の親しみの持てる施設になっている。最後に、私たちが正しいゴミの分別をしなければ、どんなに進んだ設備ももったいないことになることを痛感した。



## 高架下バザー開催

吉島学区連合女性会

11月28日南道路高架下にて、連合女性会のバザーが開かれた。バザー開催は不定期であり、コロナ禍でもあったので久々の開催となった。

環境に優しいリサイクルの品が数多く出品されていて盛況だった。



## 吉島公民館文化祭

令和4年11月12・13日

コロナ禍のため、吉島体育館ではステージ発表、公民館駐車場では体験コーナー（お話しエルマーさん、吉島プール職員さん）だけの文化祭となった。子どもたちの絵の展覧会には、たくさんの方が鑑賞されていた。



サングレースの演奏



子どもたちの絵の展示



お話しエルマーさんのコーナー

# ～\*～新任のごあいさつ～\*～



初めまして。吉島地域包括支援センター  
保健師の藤田です。

これまでは看護師をしており、その経験  
の中で、地域の魅力を感じ昨年12月より  
包括で働かせていただいております。

現在は主に百歳体操の場で皆さんと一緒に  
体操を実施しています。

よく吉島内を自転車で走り回っています。

見かけた際には、声をかけてくださると嬉しいです。

趣味はスポーツジムへ行く事、食べる事、旅行です。

コロナが落ち着いたら、タイの水上市場マーケットに行っ  
てみたいです！

まだまだ未熟ですが、成長しながら頑張っていきたいと  
思います。

これから宜しくお願いいたします。

広島市吉島地域包括支援センター  
電話 (082) 545-1123  
FAX (082) 545-1124



## なかちゃん音楽の輪 「地域芸能発表会」

令和4年度「減らそう犯罪中区大会」に続いて第2部「地  
域芸能発表会」の部に「よしの会」が出演した。客席も埋  
まっていた出演者たちは緊張した。本番までに十分に稽古  
は積んできているので準備は万端。好きじゃけんよしじま  
の横断幕も新調し、吉島太鼓、吉島音頭、好きじゃけんよ  
しじまを元気よく披露することができた。次に皆さんの感  
想を聞いてみた。

### 太鼓の演者

本番でうまくいかず  
リズムを取り戻すことがで  
きなかった。歳には勝てない思い  
はあるが、まだまだ頑張るぞ  
(よしの会会長 篠原さん)

とにかく疲れた  
(藤崎さん)

練習不足だっ  
た。参加できて会  
場を盛り上げたこ  
とは良かった  
(向田さん)

### 踊りの演者

出番まではすごく緊  
張した。出る時には地域お  
こしの一端を担っていること  
に喜びを感じた。これから先も続け  
るためにはどうしたらいいかを考  
えながら頑張りたい  
(よしの会副会長 石本さん)

好きな踊りを  
みんなと楽しく踊  
れてよかった  
(竹森さん)

久しぶりに体を  
動かして皆さんと和  
気あいあいと楽しく踊  
ることができた。これか  
らも続けたい  
(奥崎さん)

留守番役も  
疲れた  
(横島さん)

楽しかった!!  
(井出さん)  
(斉藤さん)

友達から良  
かったと言わ  
れて嬉しい  
(渋谷さん)

踊り手は皆楽しか  
った。次回もまた出たい。  
打ち上げもしたい  
(日山さん)

孫も見に来て  
くれた。これか  
らも続けたい  
(寺本さん)

皆頑張ったと  
思う。失敗しない  
ように踊った  
(三村さん)

最後の曲の好き  
じけんカープのバック  
ダンスも楽しかった  
(竹野下さん)

風呂さんの  
生歌が踊りや  
すかった  
(勝治さん)

健康教室 嬉しい開催  
吉島学区老連会長 向田一馬

コロナ禍で、過去3年間健康教室が中止となり、残念な  
思いをして来ましたが、やっと4年振りに開催する事が出  
来ました。中区地域支えあい課〈保健師〉土井章江様の司  
会により、定刻14時に開会しました。今回は〈健康運動  
指導士〉大背戸まりこ先生による「春に向けて動ける体づ  
くり」と題して講演をして頂きました。内容も大変良かっ  
たし、話しにユーモアを交えて、楽しく和やかな雰囲気  
の中で、私達の一番の関心事である健康な体づくりに、会場  
は大変盛り上がりました。手や足を動かし、筋肉の使い方、  
血流の改善、フレイル予防を意識した生活習慣等、多岐に  
渡りみんなを飽きさせない様、時には笑いを誘い、「あっ  
」と言う間の1時間45分の健康教室が終わりました。皆  
んな満足をしたのか、あと片付けをする人の目が輝いてお  
りました。今回の講話を明日からの健康な体づくりに役立  
てていきたいと思います。ありがとうございました。



## 編集後記

「福祉だより」を読んでくださっている皆様あ  
りがとうございます。広報のお手伝いをさせて頂  
いて、今まで知らなかった吉島のことを知ること  
ができて、もっと知りたいと思うようになりました。  
こんなことやってるよ!とか、こんな人がお  
られますよ!とか、情報を頂いたらありがたいで  
す。これからも編集委員一同頑張りますのでどう  
ぞよろしくお願い致します。 尾上真弓